

温もり

静かで波一つない海に僕は居る。
暖かな日ざしが降り注いでいる。
心地が良い。
ずっとここに居たい。

僕の気持ちに逆行して空には暗雲が立ち込め
海鳴りが響いている。
平穏な海が荒海へと豹変した。

僕はそのまま波に飲み込まれていく。
渦潮の中、僕は極光を見た。
あまりの眩しさに目がくらむ。

僕は極光に吸い込まれていく。
気づくと.....。
僕は温もりと安らぎに包まれている。

どこからか、天の声が聞こえてきた。
「初めまして。私のかわいい赤ちゃん。」